

《担当者名》教授 / 泉 剛

【概要】

薬物療法学 では、てんかん、統合失調症、うつ病、パーキンソン病や脳血管疾患などの様々な中枢神経系の疾患の病態生理、薬物治療、治療薬の薬理作用について、機能形態学的、病態生理学的知識に基づいて体系的に学ぶ。また、代表的な中枢神経作用薬の化学構造も例示する。

【学修目標】

日常遭遇する頻度の高い主な中枢神経系疾患について病因・病態を理解する。
中枢神経系疾患の薬物治療を行うに当たって必要な理論的根拠を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	パーキンソン病 教科書：p146～151	パーキンソン病について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(1)- -9 E2-(1)- -1	泉 剛
2	統合失調症 教科書：p128～133	統合失調症について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(1)- -4,13 E2-(1)- -1	泉 剛
3	うつ病、躁うつ病（双極性障害） 教科書：p136～141	うつ病および躁うつ病（双極性障害）について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(1)- -5,13 E2-(1)- -1	泉 剛
4	不安障害、睡眠障害 全身麻酔薬 教科書：p95～99 教科書：p99～107, p134～136	不安障害および睡眠障害について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。 全身麻酔薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(1)- -1,6,13 E2-(1)- -1	泉 剛
5	てんかん 教科書：p122～128	てんかんについて、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(1)- -7 E2-(1)- -1	泉 剛
6	麻薬性鎮痛薬 がん終末期医療と緩和ケア 教科書：p107～118	麻薬性鎮痛薬の薬理および臨床適用を説明できる。 がん終末期医療と緩和ケアに関わる薬物とその使用方法について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(1)- -2 E2-(7)- -1,2 E2-(1)- -1	泉 剛
7	脳血管障害	脳血管疾患について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。	泉 剛

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	教科書：p151～154	関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(1)- -8 E2-(1)- -1	
8	認知症 片頭痛 その他の神経疾患 中枢興奮薬 教科書：p120～121, p155～158	認知症について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。 片頭痛について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。 脳炎・髄膜炎、多発性硬化症、筋萎縮性硬化症、末梢神経障害など代表的な神経疾患について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(1)- -10,11,13,14 E2-(1)- -1	泉 剛

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験（100％）で可否の判定を行う。

定期試験後は、試験問題の解答と解説を、「講義資料ポータルサイト（g-drive）」および「北海道医療大学 e-ラーニング（Glexa）」にアップするので、学修に活用すること。

【教科書】

「パートナー 薬理学」南江堂

【参考書】

病気が見える vol.7 脳・神経 MEDIC MEDIA

【学修の準備】

予習としては、次回の授業範囲の講義スライド並びに教科書を読んで、理解しておくこと（50分）。

復習は、講義スライド、教科書、参考図書を参照しながら、講義スライドに添付してある練習問題を解くこと（50分）。

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

E2 薬理・病態・薬物治療

(1) 神経系の疾患と薬

【 中枢神経系の疾患の薬、病態、治療】1～2, 4～11, 13, 14

【 化学構造と薬効】1

(7) 病原微生物（感染症）・悪性新生物（がん）と薬

【 がん終末期医療と緩和ケア】1, 2

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。

【実務経験】

泉 剛（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での医師としての実務経験をもとに、臨床に即した薬理学および薬物療法の知識を講義する。